



コロナワクチンの2回目までの接種が終わりましたが、今度はインフルエンザワクチン接種が控えています。昨年はインフルエンザの発生が非常に抑えられていましたが、今年は昨年の免疫がない分といったん発症すれば、かなり広がる可能性があります。早めのワクチン接種をお勧めします。

## 今月のトピックス～じんましんについて

じんましん（蕁麻疹）とは、赤み（紅斑）をもった小さな皮膚のふくらみ（膨疹）が突然できる病気です。

皮膚症状の出方や期間は、人に世よって様々ですが、ひどいかゆみを伴うものが多く、数時間で消えるもの、消えてもまた別の所現れたりするのが特徴です。6週間以内に症状がなくなるものを急性じんましん、6週間以上続くものを慢性じんましんと呼びます。じんましんのメカニズムは、主にヒスタミンという物質により症状が起こります。

何らかの刺激で皮膚のマスト細胞からヒスタミンが放出されると、血管への作用により皮膚の赤みやふくらみを、神経への作用によりかゆみを起こします。

### ○じんましんのタイプは2つ

#### ① 特発性（自発的に症状が現れるタイプ）

70%以上がこのタイプ。慢性じんましんはほとんどがこのタイプで原因は不明。

#### ② 刺激誘発型（特定の刺激に反応して現れるタイプ）

誘因がわかればそれを避けることが重要。温熱・寒冷・日光・運動や発汗・食べ物・こすれなどの機械刺激・疲れ・特定の薬剤 などがある

### ○治療目標・方法は？

#### ①治療で症状がなくなる ②治療なしで症状が出ない

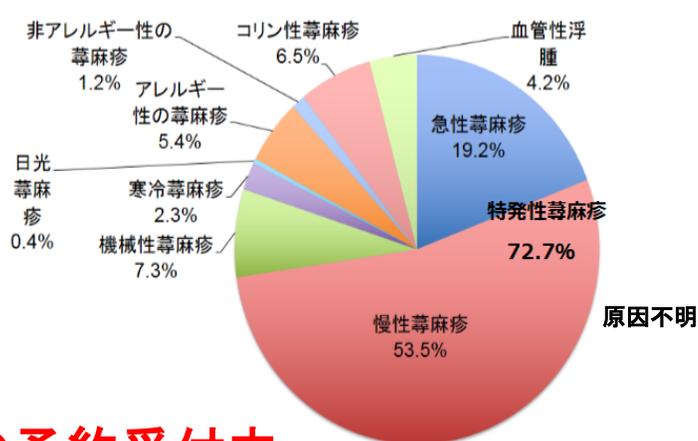
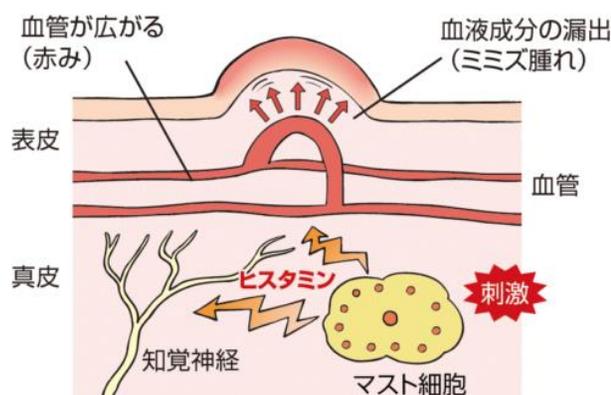
治療薬は抗ヒスタミン剤の内服が第1選択です。効果が薄い場合は、短期間だけステロイド剤を飲む場合もあります。症状が強ければ、静脈注射（レミゲンやノイロトロピン）や皮下注射（デカドロン・ヒスタグロビン）

ヒスタグロビンとは非特異的減感作療法として効果があります。内服薬だけではなかなか収まらない痒みもこれを併用することで、改善する場合があります。

### ○気を付けること

睡眠不足や疲労、ストレスはなるべく遠ざけること。抗ヒスタミン剤の中には眠くなったりするので、車の運転や危険な作業が出来ない場合があります。自分の生活環境にあった薬が必要です。ので、診察時にご相談してください。

蕁麻疹の各病型の割合



## ★インフルエンザ予防接種の予約受付中

現在接種開始していますが、今年は昨年よりワクチンの数がやや少ないので、可能であれば12月上旬までにご予約ください。



コロナワクチンの2回目までの接種が終わりましたが、今度はインフルエンザワクチン接種が控えています。昨年はインフルエンザの発生が非常に抑えられていましたが、今年は昨年の免疫がない分といったん発症すれば、かなり広がる可能性があります。早めのワクチン接種をお勧めします。

## 今月のトピックス～じんましんについて

じんましん（蕁麻疹）とは、赤み（紅斑）をもった小さな皮膚のふくらみ（膨疹）が突然できる病気です。

皮膚症状の出方や期間は、人に世よって様々ですが、ひどいかゆみを伴うものが多く、数時間で消えるもの、消えてもまた別の所現れたりするのが特徴です。6週間以内に症状がなくなるものを急性じんましん、6週間以上続くものを慢性じんましんと呼びます。じんましんのメカニズムは、主にヒスタミンという物質により症状が起こります。

何らかの刺激で皮膚のマスト細胞からヒスタミンが放出されると、血管への作用により皮膚の赤みやふくらみを、神経への作用によりかゆみを起こします。

### ○じんましんのタイプは2つ

#### ① 特発性（自発的に症状が現れるタイプ）

70%以上がこのタイプ。慢性じんましんはほとんどがこのタイプで原因は不明。

#### ② 刺激誘発型（特定の刺激に反応して現れるタイプ）

誘因がわかればそれを避けることが重要。温熱・寒冷・日光・運動や発汗・食べ物・こすれなどの機械刺激・疲れ・特定の薬剤 などがある

### ○治療目標・方法は？

#### ①治療で症状がなくなる ②治療なしで症状が出ない

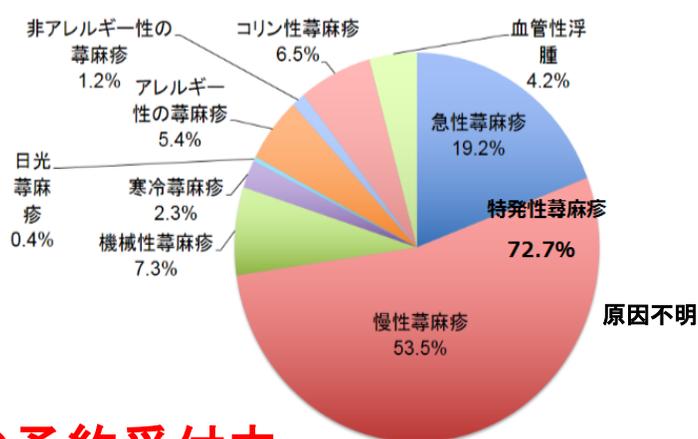
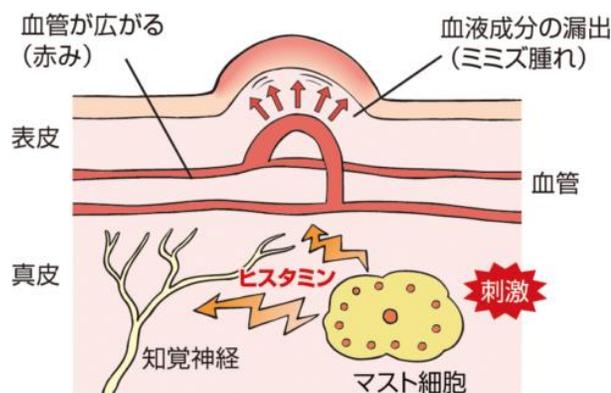
治療薬は抗ヒスタミン剤の内服が第1選択です。効果が薄い場合は、短期間だけステロイド剤を飲む場合もあります。症状が強ければ、静脈注射（レミゲンやノイロトロピン）や皮下注射（デカドロン・ヒスタグロビン）

ヒスタグロビンとは非特異的減感作療法として効果があります。内服薬だけではなかなか収まらない痒みもこれを併用することで、改善する場合があります。

### ○気を付けること

睡眠不足や疲労、ストレスはなるべく遠ざけること。抗ヒスタミン剤の中には眠くなったりするので、車の運転や危険な作業が出来ない場合があります。自分の生活環境にあった薬が必要です。ので、診察時にご相談してください。

## 蕁麻疹の各病型の割合



## ★インフルエンザ予防接種の予約受付中

現在接種開始していますが、今年は昨年よりワクチンの数がやや少ないので、可能であれば12月上旬までにご予約ください。